

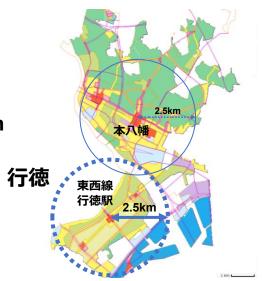
行徳は 条件的にやり易い

* 行徳駅を中心に街が半2.5km 以内にすっぽり納まる

- *地形は平坦
- *道路は規則正しく格子状



*自転車の利用にピッタリ



まずは行徳で

家から日常必要場所に自転車で15分で行ける

自転車快適タウン

を目指す

自転車路を考えるとき

思想を転換

車道に自転車レーン引く



自転車など(顔が見える移動手段)に

- *道路空間を再配分
- *人の流れをつくる

- ●生活道路を鎮静化する
- 幹線道路の自転車路と途切れなくネットワークする
- ●目的地まで安全、便利、快適に
- 道路空間に、樹木で木陰を つくる (樹冠被覆率高める)

●自宅前の道

1 生活道路の鎮静化

- 生活道路を 鎮静化すると
- ■居住エリア全体が鎮静化する



鎮静化方法

*車の混入防止 (幹線に振分け) *車の速度と交通量を抑制 -

*一方通行、車止め *ハンプ、シケイン

★直感認識が大切



行徳の生活道路幅:6m

▶塩焼小学校横(ゾーン30)





参考例

浦安市 ゾーン30 プラス

▶北部小学校前の道 速度制限30km (20kmなら更に良い)



一帯の雰囲気は平穏





●自宅から行徳の中心部・行徳駅へ

2 行徳駅前通り 行徳駅周辺

①行徳駅前通り

当通りで次の事業が始まる (2031年完成)

- *道路の無電柱化 /~/
- *北端で江戸川に架橋

この機に自転車路もきちんと整備したい

自動車交通の状況 金曜18時 (通勤時間帯)



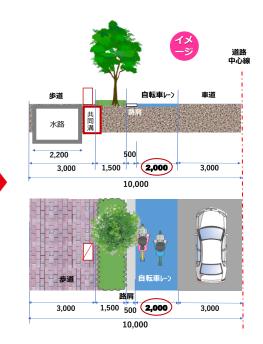


行徳駅前通りに安全な自転車レーンを

*並走・追越し・特定小型原付の走行を 想定し、レーン幅2mは確保したい

行徳駅前通り 道路幅:20m

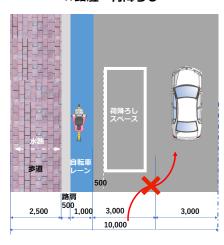




路駐で寸断される自転車レーンは機能せず

*自転車レーンの連続性を保つ

★路駐・荷降ろし





②行徳駅

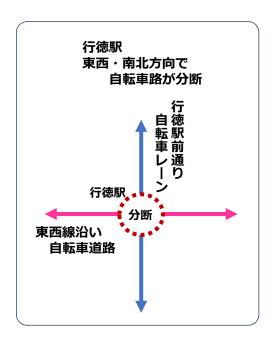
本来、広域的幹線道路が駅前を貫くのは苦しい。行徳駅前通りを 域内主要道路クラスに引き下げ、速度・交通量を抑えたいところ

自転車路分断の解消が必要

★行徳駅前の現状

バス停とタクシー乗場 (反対側) で自転車路が分断







③現存する東西線沿い 自転車道の活用

妙典駅〜行徳駅〜南行徳駅間に 設けられている





東西を結ぶ自転車路の軸に



④南北方向にも 自転車通りを

例え ば _ この生活道路を鎮静化

ここを自転車通りに





| 自転車通り

この通り、道幅は10m

- *車を一方通行とし、片側車線全面を自転車の通り道とする
- *交差する道路に対して、この通りに通行の優先権を持たせる
 - → 行徳の中心部に、安全・便利・快適な自転車通りができる



⑤行徳駅エリア



歩行者用空間に

この街路空間を、車の流入を 遮断して歩行者用空間とし、 歩いて賑わいや滞留を楽しむ 空間としてはどうでしょう

*自転車路と小口分散型の駐輪場は設ける



行徳駅

機会

8/23 行徳駅前で初めての夜イチ

いつもの商店街の通り。夜イチではカオスな行徳の賑わいを、 ゆっくりと滞留しながら楽しむ多くの人の姿が見られた。 子ども連れや若い人が多い。ポテンシャルがある。





自転車路の整備とそれを支える環境づくり 交通の領域からではなく テーマで考えることも できる

子育てファミリー応援

付近の小学校からからぴあぱーく 妙典までの道路の自転車路を連続 的に安全・快適で走りやすくする





2 UR ハイタウン塩浜 電動車椅子やシニアカーでも

移動の自立

高齢者も特定小型原付や車椅子 で自立して安全に外に出かけら れるように

「ハイタウン塩浜〜南行徳駅」、 「ハイタウン塩浜〜三番瀬・野 鳥の森」辺りの徒歩と自転車路 の整備を一体的に考える



3 三番瀬マリンロード 自転車快適タウンの象徴となる サイクリングロード

シンボルつくり

行徳の里海(三番瀬〜市川漁港〜 野鳥の楽園)をゆっくり巡るサイ クリングロードをつくる

市の開発計画で、塩浜三番瀬公園付近に賑わいが生まれると、市川塩浜駅でシェアサイクルや 電動キックボードも利用できるようにする



